

## 競技注意事項（大会申し合わせ事項）

本大会は、障がいの有無に関係なく一緒に競技することで理解を深めることを主旨としています。第2部(車いすの部)をのぞくすべての立位種目に異なる障がいをもつ競技者が参加しています。障がい特性により競技規則が認められた範囲内で配慮がされることがあります。パラ競技者についてはスタートリストの氏名の前に競技クラス(障がいを説明する記号と番号＝例:T20 や F53 など)が記載されています。

本大会にエントリーしているパラ競技者の数

種目	クラス	100m		200m		400m		800m		1500m		5000m	走幅跳		走高跳		砲丸投		やり投	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
視覚障がい	11	5	1	2				1		1			1	1						
	11	7	4		1					1			4	1					2	
	11	4	1	4		1		1					2						1	1
知的障がい	20	50	8	43	8	38	7	23	2	19	6	5	9	5					1	2
	30																			
	31																			
	32																			
	33	1																		
知的障がい(車いす)	34	5	4	5		4	3	3	4								1	1	1	1
	35		2	1	1					1										
	36		1			1						1								
	37	3	1	2	1	2		1		3			2						2	
知的障がい(立位)	38			1	1		1													
	40																			
低身長	41																			
	42																			2
	43																			
	44																			
	45	1				1														
機能障がい(立位)	46	3	1	2									2							3
	47	4	4	1	3	1	1						1							
	51	3																		
	52	5	2	2		4	1													
機能障がい(車いす)	53	2				3		1									1			
	54	6	4	1		6	4	8	1	8	1	3								
	56																1			1
	57																1			1
	61	1			1		1								1					
切断(義足使用)	62	2	1	2	1	1														
	63	10	3	1		2	1						5	3					2	1
	64	9	3	6	1								2	2	1					
	車いす(クラス不明)	2	1	1																

### 1. 競技規則について

本競技会は 2023 年度日本陸上競技連盟規則、並びに本競技会要項及び競技注意事項(本注意事項)により実施します。本競技会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適用は同様とします。ただし第2部の車いすの部及び、障がい特性により特別な配慮がされる立位競技者に対しては、2022-2023 World Para Athletics(WPA)競技規則によります。パラ競技者についてはスタートリストの氏名の後に競技クラスの注記があります。

パラ競技者で、IPC 登録者でステータスが C もしくは R の記録は WPA 公認となります。ステータスが C もしくは R(有効期限内)の記録は WPA 世界記録およびアジア記録の対象となります。対象者の氏名の後ろには(\*)印があります。

### 2. 競技場の入退場と受付について

競技場の入退場口は、競技者、チーム関係者、メディア関係者、観客すべて競技場1階の B ゲートのみです。

競技場1階には、競技者受付、総合案内所・スタンド(観客席)があります。

競技場地下2階には、招集所・TIC・室内練習場・更衣室・PEC エリア・トラックがあります。

(1) 会場への入退場口は B ゲートのみとしますが、ただし、事前申請を行った車いす使用者等の車両は P3 ゲートから入場し指定されたエリアに駐車してください。

(2) 入場開始時刻は各日とも7:30とします。

- (3) 団体ごとに1階 B ゲート横に設置する競技者受付にてアスリートビブス・ID カード・プログラムを受け取ってください。P3 ゲートから入場する車いす競技者の受付については別途案内します。
- (4) 競技者には「選手ID」、原則、競技者1名につき1枚の「コーチID」を支給します。パラ競技者のガイドランナーとアシスタントには「ガイド・アシスタントID」を支給します。競技者、チーム関係者は競技場内では所定の ID カードを着用してください。
- (5) IDカード着用者のみ指定の階段またはエレベーターを利用して地下2階の室内練習場に行くことができます。IDカードの無い方は、1階のスタンド(観客席)での応援をお願いします。
- (6) 早朝のウォーミングアップ時を除き、競技エリアにアクセスできるのは、招集を終えた競技者とビブスを着用したパラ競技者のガイドランナーとアシスタントのみです。競技を終えた競技者は、GATE2から退場し、室内練習場に戻るか、指定の階段かエレベーターで1階観客席に上がってください。トラック競技者はトラック以外の場所でのスパイク着用は認められません。GATE2 でアップシューズに履き替えてください。
- (7)総合案内所(競技者受付横)にてプログラムの販売(1部500円)を行います。
- (8)プログラムに記載ミス(氏名、学年、所属等)があった場合には、8:30または出場する競技の2時間前までに地下2階 GATE5裏の TIC に申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。

### 3.ウォーミングアップについて

ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行ってください。競技運営上、安全管理上、一時的に制限することもあります。

- (1)立位競技者は室内練習場でウォームアップをおこなってください。室内練習場では安全のため、監督コーチは練習場内の柱の後ろで待機してください。
- (2)両日とも7:30~9:30、競技場のトラックでの練習が可能です。内側1~4レーンは車いす競技者、外側5~9レーンは立位競技者用とし、コーンで仕切ります。
- (3)トラック種目の車いす競技者はローラーを持参することを推奨します。車いすの200m以上の種目では競技前にスタート地点まで半周~1周のウォーミングアップランが可能です。
- (4)投てき練習は競技開始前におこないます。立位では 2 回の練習投てきを保証します。座位は制限時間内で練習投てきが可能です。

### 4.各種書類について

「欠場届」「上訴申立書」の配布および受付は「TIC」にて行います。(TIC はGATE5裏側、室内練習場至近に設置します)

「重複出場届」「リレーオーダー用紙」の配布および受付は「招集所」にて行います。

パラ競技者を対象に、上記に加え、「リクエスト・フォーム(ルールにないアシスタントの入場など)」の配布および受付は、「TIC」にて行います。また、「補助申請書(スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等)」「競技者・ガイドランナー スタート位置申請書」の配布および受付は「招集所」にて行います。

### 5.招集について

- (1)招集所はGATE5裏側に設けます。
- (2)各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載の通りとします。トラック種目では組ごとに招集時間が異なるのでスタートリストで事前に確認してください。
- (3)招集の方法
  - ①競技者は定められた時間内(タイムテーブル参照)に招集所で競技者係による招集を受けてください。その際、アスリートビブス・靴・スパイクピン・商標のチェックを行います。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識を受け取ってください。
  - ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできません。それら禁止物品については招集所にて一旦預かり、TICにて返却します。
  - ③代理人が招集を受けることは認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものと処理します。
- (4)2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所(競技者係)に備え付けの「重複出場届(2種目同時出場届)」に記入し競技者係に提出してください。
- (5)コーチや付き添い者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めてください。

(6)パラ競技者は次の点についても注意してください。

- ①T11、T12の競技者で、400mまでのトラック種目においてガイドランナー(伴走者)を伴う場合は、招集時に「選手・ガイドランナー スタート位置申請書」を提出してください。左右どちらを走るかを事前申告する書式です。
- ③ パラ競技者は通常の検査項目に加えて、車いす競技者はレーザー、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。コロナ感染予防の観点から、ガイドランナーおよびアシスタントへのビブスの貸し出しはしません。各自で用意したビブスを着用してください。ビブスの用意ができない者へは販売します。
- ④ 両足義足使用の競技者(T61、T62)は、招集時に MASH(最大許可身長)の計測を行います。

#### 6.アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1)アスリートビブスは、1名につき2枚配布します(胸・背用)。
- (2)アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けてください。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでも構いません。
- (3)トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を右側の腰に確実に付けます。ガイドランナーも同様です。車いす競技者はヘルメットの右側に付けます。
- (4)車いす競技者は、背用を車いすの後部に付けます。(レーザー使用の選手においては、胸用は付けなくても構いません)。

#### 7.競技エリアの入退場について

- (1)競技エリアの入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、ガイドランナー、アシスタントのみ可能です。競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従ってください。
- (2)招集所から競技区域へは、競技役員の誘導で、地下2階GATE5から入場し、スタート地点または競技実施場所まで移動してください。
- (3)退場口は、フィールド種目も含めすべての種目で、フィニッシュ付近のミックスゾーン(GATE2)のみとします。GATE2の外側 PEC(ポストイベントコントロール)エリアを出た後は、リングロード(車が通行する裏道)を通って雨天練習場に戻るか指定の階段かエレベーターを利用して2階のスタンド(観客席)に移動してください。
- (4)トラック種目に出場する立位競技者の荷物は、招集所から競技役員がミックスゾーン(GATE2)の先のPEC(ポストイベントコントロール)エリアに運搬します。スパイクはPECで履き替えてください。スパイクでトラック以外の場所を通行することは禁止されています。
- (5)競技を終えた競技者のために、特別協賛社の長瀬産業が中央ホール(通称:行灯ホール)にアスリートラウンジを設置します。リングロード側から入場できますのでぜひご利用ください。

#### 8.更衣室について

- (1)室内練習場の更衣室が使用できます。更衣室では更衣のみ行い、盗難等の防止のため荷物は置かないください。

#### 9.競技について

##### 【第3部の小学生の部100m】

- (1)100mでスターティングブロックは使用しません。男女一緒に実施し、持ちタイムもしくは申告された目標タイムで組み分けをおこないます。
- (2)スタートはクラウチングでもスタンディングでもかまいません。
- (3)トラック競技のスタート動作の指示は英語で行います。同一競技者が2回不正スタートをした場合は失格とします。ただし競技には参加させて記録は参考記録とします。
- (4)スパイクを使用する場合、ピンの長さは9mm以内とし、数は11本以内とします。厚底シューズの規程TR5は適用外とします。

#### 第3部以外の全競技者対象

##### 《トラック》

- (1)陸連登録者の部と陸連未登録の部は別レースとなります。
- (2)スターティングブロック必須の種目(100m、200m、400m)では、スタートインフォメーションシステム(SIS)を使用します。
- (3)聴覚障がい者用の光刺激システムは使用しません。

(4)スタートリストの組み分けは、エントリー時の持ち記録の順とし、障がいの有無や障がいの程度に関係なく編成します。記録無記入の場合、最後の組に振り分けます。

(5)第1部(陸連登録者の部)の100mと200mは2レースを実施します。第2レースはエントリー時に出場希望有とした競技者のみが対象です。第2レースの組み分けは第1レースの記録順で編成するので第2レースのみに出場することはできません。

(6)立位の男子5000mはスタート後30分でレースを打ち切ります。

(7)招待リレーのオーダー用紙は招集完了時間の1時間前までにTICに提出してください。

《フィールド》

(1)走幅跳は、視覚障がいのある競技者(T11/T12)とそれ以外の競技者とで別に競技を実施します。

(2)立位の距離のフィールド種目は男女一緒に競技することがあります。全員6回試技としますが3回目以降の試技順変更はおこないません。

(3)座位の投てき種目は6連投です。

(4)男子走高跳は、すべてクラス共通で一緒に競技することとし、バーの上げ幅は下記の通りで実施します。

男子 150 155 160 165 170 175 180 185 190 193 196 199 201 以降 2 cm

(5)投てき用具は、以下の規格を使用します。

①第1部(陸連登録者の部・立位)

男子やり投 :800g 一部パラ競技者(F37, F41):600g

女子やり投 :600g

②第2部(陸連未登録者の部・車いす)

男子砲丸投 F34, F56, F57 : 4kg / F53 : 3kg

男子やり投 F34, F56, F57 : 600g

女子砲丸投 F34 : 3kg

女子やり投 F34 : 600g

【パラ種目の主要規則の確認】

(1)両足義足使用の競技者(T61、T62)は、招集時にMASH(最大許可身長)の計測を行います。

(2)T11、T12のレーンを用いるトラック種目では、ガイドランナー(伴走者)の有無にかかわらず2つのレーンが割り振られます。なお、ガイドランナーを伴う場合は、招集時に申請した並びに従ってください。

(3)車いす競技者は、ヘルメットを着用します。

(4)アイマスク、アイパッチ【パラ競技者対象】

T11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時にありますが、スタート地点、並びにフィールド競技場所で再検査を行う事があります。

(5)ガイド、およびアシスタント【パラ競技者対象】

①ガイドランナーおよびフィールド種目のアシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。

②T11、T12の競技者とガイドランナーは、常にテザー(ガイドロープ)でつながってなくてはなりません。違反した場合は失格となります。

③T11、T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者が先行しなかった場合には、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となります。

④T11、T12の跳躍競技においては、アシスタントを同行させることができます。T11の跳躍は2名以内、それ以外は1名です。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができますが、競技成立以前に「砂場」に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無効試技となります。

⑤T12、T20、T35-38、T42-47、T61-64のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができます。

⑥T20、T35-38、T42-47、T61-64の走幅跳においては、招集時に助走路に置くマーカーの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができます。

⑦座位のアシスタントを伴う場合は、競技者を投てき台に移動できる者でなくてはなりません。移動の対応ができないアシスタントであっても、競技役員、補助員その他の者は、規則により手助けできませんので注意してください。

(6)フィールド競技

①視覚障がいのT11、T12走幅跳においては、1m×助走路幅に白色で記した区域を踏切エリアとします。走幅跳では着地区

域から1mの位置が最先端となるように設置しますが、状況により踏切位置を調整することがあります。

②投てき台の固定後、競技者の投てき台への移動、固定、及びその後の練習のための時間は F32-34 および F54-57 は 4 分以内、F31 および F51-53 は 5 分以内です。

③座位投てき種目における服装(下衣)は、判定の妨げとならないよう身体に密着していなければなりません。

④座位の投てき競技は 6 連投です。それぞれの投てき時間は 1 分、3 投後 1 分休憩をとることができます。

⑤投てき台、レーサーの検査は招集時に行いますが、スタート地点もしくは競技場所で再検査を行うことがあります。

⑥車いすの競走競技に出場する選手は、ヘルメットを着用しなくてはなりません。

## 10. 競技用靴について

(1)スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は 12mm以内とします。いずれの場合もスパイクピンの数は 11 本以内とします。

(2)World Athletics (WA) が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認のこと。

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

(3)靴底の厚さについては、TR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じます。規定を超える靴での出場は認めません。ただし小学生については対象外とします。

(4)パラ競技者で障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TIC にリクエストフォームを提出し許可を得てください。

(5)使用された靴に関して審判長が確認のため、競技終了後に提出を求めることがあります。

## 11 用器具について

(1)競技用器具は、主催者が用意したものに限ります。

「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストに複数本ないものは、2個まで個人所有のもの(日本陸上競技連盟検定品に限る)が持ち込み申請でき、検査に合格した物に限り主催者が借り上げ、競技者全員が使用できるものとします。座位については WPA 規則により「砲丸」についても「やり」と同様の扱いとします。

なおパラの記録(WPA 記録)として認められるには投てき物は WA 認証品でなくてはならないので注意してください。

(2)「投てき物」の持込を希望する競技者は、招集開始時刻の90分前までに、地下2階 GATE5裏の TIC に「投てき用具検査申請書」とともに「投てき物」を提出してください。受け付けた「投てき物」については、「預り証」を発行します。競技終了後に TIC で「預り証」を確認のうえ返却します。

(3)送付されたレーサーや投てき台は GATE5 至近の駐車エリア E3 の一角に保管されます。

(4)レーサーや投てき台を返送する際は、駐車エリア E3 の指定の場所に運び入れてください。ヤマトと佐川の着払いのみ対応可能です。

(5)パラ競技者は、不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザー及びガイドランナー、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS(欠場)として扱います。

## 12. クラス分けについて【パラ競技者対象】

本競技会ではクラス分けは実施しません。

国内クラス分けステータスが「C」または「R 有効期限内」による記録は日本記録の対象となります。

国際クラス分けステータスが「C」または「R」による記録は WPA ランキングの対象となります。国際クラス分けステータスが「C」または「R 有効期限内」による記録は世界記録及びアジア記録の対象となります。

## 13. ドーピング・コントロール・テストについて

①本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

②本競技会参加者(18 歳未満の競技者含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

③本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに

提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後7日以内にJADA事務局へ郵送で提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとします。

④本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。

⑤競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動 終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。

⑥日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

## 12. 抗議と上訴について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人あるいはチームを代表する者が地下2階 GATE5裏のTICに申し出てください。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝えます。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金(1万円)を添えTICに申し出てください。

## 13. 製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等について

(1)競技エリアに製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守してください。競技役員から指摘された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠してください。

(2)本大会では、パラ競技者に関してはWPA規則を適用することから、スタンドでの個人名を記した応援用のぼり、旗の掲出・展示は国際規則に準じて認めます。ただし他の観客の視界の妨げとなる場合は移動または撤去いただきます。企業名については主催者が特に認めたもの以外は認められません。

(3)応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名(スポンサー名)の露出をすることを禁止します。(ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません)。

## 14. 表彰について

パラアスリートを対象に、WPA 及び VIRTUS 世界記録樹立者には、NAGASE プライズとして特別協賛の長瀬産業株式会社から賞金(20万円)が贈られます。また WPA アジア記録樹立者には賞金(10万円)が贈られます。伴走者がいる種目での世界記録樹立の場合は、伴走者に対しても賞金(10万円※)、アジア記録では賞金(5万円※)が贈られます。※5000mで伴走者が2名の場合は、2名でこの賞金額となります。

## 15. 一般注意事項

(1)トレーナブースは開設しません。

(2)競技結果および番組編成リストは電光掲示板での発表でご確認ください。

速報サイトにも掲載します。 URL: <https://gold.jaic.org/jaic/para/results/2023/nagase/kyougi.html>



(3)希望者には記録証を1部300円で発行しますので10:00~15:00に、TICへ申し込んでください。郵送等はいりません。

(4)プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。(受付用紙は TIC に置きます)。

(5)悪天により競技を一部中断もしくは中止することがあります。

(6)NAGASE プライズ贈呈にあたり、プログラムやスタートリスト、リザルトで扱うパラ種目(WPA 及び VIRTUS)記録の世界記録、アジア記録については、2023年8月25日時点のものです。

(7)撮影についてのお願い: 悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。

- ① 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
- ② 出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等
- ③ 大会事務局

また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。

なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。

(8)大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。

(9)応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。

(10)救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。

(11)競技場の観客席の開門は7:30、閉門は競技終了後30分とします。

(12)貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。

(13)届けられた遺失物は競技者受付(総合案内所)で競技終了まで保管します。

(14)競技場の環境美化に協力してください。スタンド(観客席)にゴミ箱の設置はありません。各自出したゴミは持ち帰ってください。

### 投てき物一覧表

器具	種別	メーカー	品名等	品番	Certification No.	規格等	数量	合計
砲丸	男子F34、F56、F57 (4.000kg)	NISHI	鉄製	F253C	I-99-0084	φ109mm	2	4
				F253	I-99-0089	φ103mm	2	
	男子F53、女子F34 (3.000kg)	NISHI	鉄製	F293A	I-12-0571	φ109mm	1	1
やり	男子(800g)	NEMETH	クラシック90m	NC828	I-99-0100		1	15
			クラシック85m	NC829	I-09-0429		1	
		NORDIC	エアグライダースティールflex6.1	NC760A	I-99-0011		2	
			チャンピオンスティールflex6.4	NC762A	I-99-0012	向い風用	2	
			オービットスティールflex6.6	NC761A	I-99-0014	追い風用	1	
			スーパーエリート800flex6.8	NC763A	I-99-0020		1	
			スーパーエリートクラシックflex7.0	NC764A	I-99-0019	追い風用	1	
			マスター800flex7.5	NC765A	I-99-0013		1	
		NISHI	Super GD Type I	NF450	I-18-0931		1	
			Super GD Type II	NF451	I-18-0932		1	
			HYBRID GENOME X	NF458	I-11-0506		1	
			スーパーDR	F453E	I-01-0236	80m	2	
	男子 F37、F41 F34、F56、F57 女子(F34含む) (600g)	NEMETH	クラシック80m	NC835C	I-99-0102		2	10
			クラシック75m	NC836C	I-99-0103		2	
		NORDIC	ダイナスティールflex6.2	NC771D	I-99-0018	向い風用	1	
ダイナ NXS, Metal alloyflex7.2			NC773E	I-99-0015		1		
ダイナ NXB, Metal alloyflex7.7			NC774E	I-99-0016		1		
NISHI		HYBRID GENOME X	NF466	I-12-0573		1		
	スーパーDR	F463F	I-01-0235	70m	2			



# 1階



# 地下2階

